

始良・伊佐地域青少年育成だより

発行
始良・伊佐地域青少年育成推進協議会
第41号 令和2年3月

〒899-5212 始良市加治木町諏訪町12
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108



「令和元年度『強調月間』取り組み 各市町でイベント等開催し大成果！！



令和元年度「郷土に学び育む青少年運動」の強調月間は、今年の11月1日（金）から30日（土）までの一か月間に渡り実施されました。その間、当地域では、各市町の教育委員会や校区コミュニティ協議会等を中心に、各種のイベント等が多数開催され、それぞれ関係者の貢献的な努力により、大きな成果が報告されました。以下、各地で開催されたイベント等の様子・成果等を紹介します。

伊佐市立羽月西小学校区では、今年の11月15日（金）に校区コミュニティ協議会の主催で「羽月西小校区干し柿プロジェクト」を実施されました。ふるさとにある渋柿と校区の寒さを利用して干し柿をつくり、出来た物を宮城県南三陸町へ送り、復興支援の一環にする。加えて、この活動をとおして、児童と地域の大人が交流を深め、お互いが顔見知りになり、声をかけ合うことで非行防止につなげていくというねらいでの実施でした。プロジェクトには、全校児童17名と職員10名、校区学校応援団21名、JA北さつま女性部12名の合計61名が参加しました。学校応援団の皆さんが、校区内外から1500個の柿を準備され、事前に柿についた土やほこり等を水で洗い流し、小学校の体育館で乾燥させ、当日に臨まれました。当日は、61名が、まず渋柿の皮をむき、10個ずつ紐に結びつけ煮沸消毒をしました。その後、風通しのよい小学校の渡り廊下につるしました。児童は、学校応援団やJA北さつま女性部のみなさんの助言・手助けも貰いながら上手に皮むきなどの作業を順次手際よく進めたそうです。「美味しくできあがるといいなあ。」「南三陸町の皆さんが喜んで食べてくださるといいなあ。」などの会話も弾み、親睦も深まったそうです。その後、児童が南三陸町の皆さんへ励ましの手紙を書き、12月18日（水）に600個をパック詰めし、発送したそうです。



【強調月間中における各市町的主要取り組み】

市町名	主 な 取 り 組 み 事 項
霧島市	・舞鶴大学・大学院（高齢者大学）生の学校訪問（各自自分の地元の小学校を訪問し、児童と交流） ・市内各小・中学校で家庭教育学級を実施
伊佐市	・PTA会員による街頭補導の実施。 ・校区コミュニティと連携（意見交換会） ・「伊佐さわやかあいさつ運動」の推進 ・各地域で伝統芸能の披露・発表
始良市	・青少年育成市民会議環境部会の情報交換会開催 ・蒲生文化祭の実施 ・AIRAふるさとレンジャー「島津義弘公について学ぼう」の実施（40名参加）
湧水町	・「一声添えたあいさつ運動」の推進 ・「秋祭り舞台芸能祭」を実施 ・登下校時のパトロール実施 ・子ども会育成部長会の開催と運動展開の依頼

春の「郷土に学び育む青少年運動」の取り組みを全力で！！



来る3月11日（水）から4月10日（金）までが春の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施期間となります。各市町教育委員会や市町青少年育成市民会議等の計画で、色々な活動等が展開されると思います。関係者の皆様や団体のお力添えもどうか宜しくお願いします！！



令和元年度かごしま地域塾「グレードアップセミナー」実施！！

去る2月1日(土)にかごしま地域塾「グレードアップセミナー」が、県青少年会館で実施されました。本年度は4つの団体が「優れた地域塾」として認証されました。その認証式と活動紹介やグループ別の意見交換の様子を紹介します。

1 「優れた地域塾」として認証された団体

地域塾名	代表者名	構成	主な取り組み
ボーイスカウト鹿児島 21 団 (鹿児島市)	伊東 清寛	幼 5人, 小 9人 中 2人, 高 1人 他21人, 計38人	・小原祭り等のプラカード持ち, 総踊りへの参加 ・全国防災キャラバンへの参加等
かノハゴ 永野兵児塾 (さつま町)	上別府 裕人	小23人, 中16人 高18人, 他20人 計77人	・田植え ・ふれあい六月灯 ・郷土芸能「秋津舞」練習 ・南方神社例大祭奉納 等
徳之島闘牛太鼓	眞方 綾子	幼30人, 小20人 中 5人, 高 3人 他17人, 計75人	・太鼓の練習 (毎月4~5回) ・地域行事への参加 ・老人施設の慰問 等
知名町子ども会	森 勇樹	幼 75人, 小350人 中110人, 高 17人 他132人, 計684人	・自然体験活動 ・公園の緑化活動 ・地域行事への参加 ・島唄島ムニ大会 等

2 「グレードアップセミナー」の日程

- 1 開会行事
- 2 「優れた地域塾」認証式・事業概要説明 (含むVTR視聴)
- 3 活動紹介 (「永野兵児塾」さつま町)
- 4 グループ別意見交換「地域塾活動を継続・発展させるための具体的な取り組みについて」



【「永野兵児塾」の活動紹介を真剣に拝聴】

3 「グレードアップセミナー」の様子

認証式の後に事業概要説明のためにVTRを視聴したが、それは、昨年10月5日(土)に南日本放送のテレビ番組で放映された「ふるさとかごしま」の録画であった。その中で、昨年度認証された本地域の「横瀬棒踊り子ども塾」「川添子ども会」の活動の様子が紹介され、本当に嬉しいでした。画面を見入りながら「素晴らしいなあ!」のつぶやきも聞こえ、両地域塾に心から感謝することでした。本地域からは毎年認証されて来ましたが、今年度は、認証無しでした。しかし、現在県下に46団体認証されている団体の中の9団体が本地域の所属です。

活動紹介では、さつま町の「永野兵児塾」が活動の概要と農業体験・伝統芸能の継承活動・「子ども語り部隊」の様子をスライドで詳しく紹介されました。子供たちが学校生活では体験出来ないことであり、多忙な中での関係者の奮闘に大変感動しました。

最後に、「グループ別の意見交換」がなされ、「地域塾活動を継続・発展させるための具体的な取り組み」について立場や地域別等に分けられたグループで活発に意見交換がなされました。過疎化で児童・生徒数が激減し、伝統芸能の保存・継承活動等も校区単位でさえ継続不可能になるのではと危惧される地域が多くなり深刻な悩みであるが、集落の統合や参加対象者の枠拡張なども工夫の一例としてあげられ、目前の課題を何とか解決したい必死の思いの伝わる意見交換会でした。



【グループ別意見交換で真剣に討議】



令和元年度第2回「始良・伊佐地域 青少年育成コーディネーター連絡会」開催



標記連絡会を、昨年(2019年)の12月13日(金)に始良・伊佐地域振興局で開催しました。各市町から委嘱されている9名の青少年育成コーディネーターのうち7名が集い、まず、今後の活動に必要な事業計画説明やミニ研修を受講しました。その後、各自の実践を紹介し合うことで、一層の士気の高揚と活動内容の向上につながることを期して情報交換を行いました。



その中で、昨年(2019年)の11月25日(月)・26日(火)に東京で開催された「子供・若者支援育成推進連携事業」(中央研修大会)で学んだ情報も伝達しました。各々の会員は、出来る事から取り入れ、活動の拡充へつなげようと、真剣に聞き入っていました。

次の情報交換の部は、親身になって身の回りの子供たちと向き合い、想定以上の成果に会員同士も感動し合う素晴らしいものとなりました。中でも、1人の不登校児を、自分の指導する太鼓保存会に導き入れ、日頃の保存・継承の活動をとおして不登校の見事な解消、リーダーへの成長、有望な自動車会社への就職に漕ぎ着けた一例は、青少年の健全育成に携わる者にとっては、指導者冥利に尽きる感動的な報告であり、参加者全員が勇気づけられました。参加者は、今後も連絡を密にしながら、精一杯の青少年の健全育成活動を展開しようと誓いながらの解散となりました。

青少年育成コーディネーターが各地域で青少年健全育成に奮闘！！

青少年育成コーディネーターとは？

各市町に配置され、各市町の青少年育成の中核になり、各小学校区青少年育成組織へ健全育成活動の活性化方策をアドバイスしたり、各種青少年健全育成活動をコーディネートしたりするほか、各市町における青少年健全育成に関する現状把握や関係機関・団体との連絡調整を行います。



青少年育成コーディネーターは、霧島市4名、伊佐市・始良市が各2名ずつ、湧水町は1名の合計9名が配置され、上記の通りの活動に目下専念中です。平成30年度からは、青少年育成指導員と一緒に学校訪問もして貰っています。それぞれに自分の仕事や地域の重要な役職を兼務しながら、これからの地域や社会を担う青少年の健全育成活動に大奮闘中です。活動は、もちろんボランティアであり、唯々感謝するしかありません。本当に頭が下がります。皆様は、出会われましたら感謝・労いの声かけをお願いします。

2020年度「第42回少年の主張鹿児島県大会」の作文募集

恒例の作文募集を下記の要領で募集します。応募者が大変少数です。関係の皆様、身近な中学校・中学生への声かけにより、応募者が増えることを期待しています。是非、お力添えください！！



- 1 作文の文字数は、B4判400字詰原稿用紙4枚以内とし、5分以内に発表出来るもの。
- 2 締め切りは、令和2年5月8日(金)、各学校の担任の先生まで。



令和元年度

「かごしま地域塾」新規登録団体紹介



令和元年度に「かごしま地域塾」として新規に登録された本地域関係の4団体を紹介します。霧島市からは「中・高校生クラブ『ひまわり』」、伊佐市からは「伊佐市青少年クラブ つながりプロジェクト」、始良市からは、「けんのひら塾」と「蒲生郷大楠少年太鼓」の2団体。本地域から合計4団体が、今年の11月1日付けで新規に地域塾として認定されました。

地域塾名	代表者名	活動内容	人数	所属市町名
中高生クラブ「ひまわり」	永井 尚美	・各種イベントの運営補助 ・黒酢の仕込み体験 等	16名	霧島市
伊佐市青少年クラブ つながりプロジェクト	脇黒丸 磨	・定例会 ・地域ボランティア ・地域イベントの企画 等	11名	伊佐市
けんのひら塾	鹿子木 巧	・地域の自然を活かした体験活動 ・美術館の見学 等	870名	始良市
蒲生郷大楠少年太鼓	田中 久嗣	・和太鼓の練習・成果発表 ・地域イベントの盛り上げ活動 等	35名	始良市



新規登録団体の昨今の活動から



上記の新規登録団体は、登録認定と同時に早速活動を開始しています。今回は、その様子を各団体ごとに簡単に紹介します。

中高生クラブ「ひまわり」は、年末に実施された市立図書館主催のお話フェスタの運営補助員として活動した。まず大型紙芝居を読み、次にプラビーづくりで、オープントースターで、参加した小学生の描いたプラ版を焼いてあげた。最後にサンタクロースに扮して主催者が用意したクリスマスのプレゼントを配布したそうである。

「伊佐市青少年クラブつながりプロジェクト」は、今年の秋の伊佐米収穫後から、各「道の駅」における米の販売状況を調査して回り、その結果を伊佐市を紹介するフリーペーパーにまとめて、道の駅や市役所等で外来者に配布している。団員である高校生7名が4名の先輩のアドバイスを受けながら仕上げたとのことである。

「けんのひら塾」は、鬼火焚きの計画であったが、準備の都合等で今回は、実施される集落に分散して参加し、実施に替えたとのことであった。

最後に「蒲生郷大楠少年太鼓」は、年末の蒲生市で25名が参加し、「大楠物語」「寄席囃子」「屋台囃子」等の太鼓演奏に頑張ったとのことである。また、新春早々蒲生地域女性団体が主催した「七草祝い」でも、勇壮に太鼓演奏で華をそえ、祝いを最高に盛りあげ、会場を熱気ムンムンにしたとのことであった。左の写真は 勇壮な姿で力強く演奏している様子である。



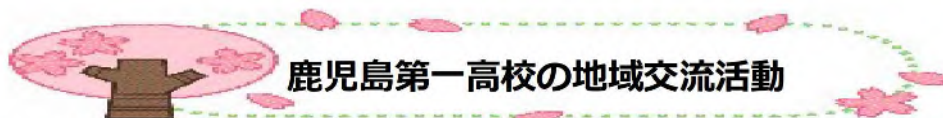
「かごしま地域塾」に登録して
もっと充実した活動をしませんか？



【地域塾】とは？

鹿児島島の教育的風土や伝統を生かし、異年齢集団での様々な体験活動を通し、子どもたちが思いやりや自立心、社会的な規範意識などを身につける活動に取り組む団体のうち、理念に基づき精神鍛錬の場や学習活動の設定、地域に根ざした活動等、一定の要件を満たしたものをいいます。

始良・伊佐地域の学校活動紹介



鹿児島第一高校の地域交流活動

鹿児島第一高校和太鼓部は、毎年12月に隼人町の介護老人保健施設「希望の里」のクリスマス会に参加させていただいています。

今回は、和太鼓部伝統の「息吹」と「族」の二曲を演奏したり、クリスマスソングを一緒に歌ったり、利用者の方々と楽しいひと時を過ごすことができました。

特に、「茶碗蒸しの歌」や「鹿児島おはら節」の曲に合わせての和太鼓体験では、実際に太鼓を叩いてもらって大変喜んでいただけました。中には涙を流して下さった利用者の方もいて、私たち和太鼓部一同は、大変感激・感動しました。毎年素晴らしい貴重な体験をさせていただき本当に感謝しております。



伊佐農林高校の農林館祭り



本校では毎年、春と秋に「農林館祭り」を開催します。農林館祭りとは農林技術科の5つの専攻班が生産や加工した物を提供して地域の方々に購入してもらう行事です。

専攻班には園芸専攻、林業専攻、大家畜専攻、中小家畜専攻、食品加工専攻があり野菜や花の苗、木炭や木製品、うるち米と餅米、豚肉、鶏卵、豚みそ、各種ジャムなどを販売します。当日は伊佐市近郊の商店も参加され農林館まつりを盛り上げてくださいます。

また、本校の生活情報科（情報と家庭を専門に学ぶ学科）の生徒たちも鹿児島県の特産物を販売したり、「みそ玉」を使った味噌汁を来場者に振る舞って、両学科で協力しながら進めていきます。来場者の数は毎回約700人程度です。県外からも楽しみに来校されます。これからも本校の学習の様子を多くの方に知ってもらえるように生徒と教職員が一緒になって頑張っていきます。



「おもてなしの心」を大切に！ 伝統行事を通して



霧島市立宮内小学校



宮内小学校のPTAうどんバザーは、昭和25頃に始まり、今回で69回を迎える伝統行事です。鹿児島神宮の初午祭の日に開催し、毎年6年生が、総合的な学習の時間にキャリア教育の一環として参加しています。

まず、業者(うどん店)の方を講師に迎え、「おもてなしの心」について学びました。始めに、元気よく声を出すこと、お辞儀の姿勢や頭を下げる角度等、接客の基本について学び、お辞儀の練習をしました。次に「いらっしゃいませ」「お待たせしました。」等の言葉遣いやお客様の身になって考えること等、接客の心構えも学び、さらに、当日に向けて、うどんの運び方等の練習も何度もしました。そして本番、初めは、恥ずかしさで、大きな声が出なかった児童も、お客さんと何度も何度も接することを通して、次第に元気に対応することが出来るようになっていました。

参加した6年生は、この学習を通して、勤労の喜びやコミュニケーションの大切さ等、多くのことを学びました。間もなく中学校に進学する6年生にとって、「将来の夢」実現に向けた最高の体験の場となりました。



【おもてなしの心について学ぶ】



【心のこもった接客を心掛ける】



フ … ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる生徒
ク … くじけないたくましい心と体を備えた生徒
ヤ … やる気に満ちた熱いまなごしの生徒
マ … 真心届けるあいさつのできる生徒

霧島市立
牧之原中学校

本校の北側に見える惣陣が丘には、6000本とも言われるつつじで描かれ、日本一と称される「フクヤマ」の花文字があります。この「フクヤマ」を頭文字にして、本校の「目指す生徒像」はつくられています。

中でも、「ふるさとを愛し、ふるさとに貢献できる生徒」を育成する取組として平成30年度から行っている「ふるさと貢献学習」は、本校の特色ある教育活動の一つにもなっています。この学習活動では、地域の特色や実態、課題等について調べ、「中学生にもできるふるさとへの貢献」といったテーマで、まずは中学生自身が活動計画を考えます。同じ時期には、生徒が住んでいる地区単位で公民館長さんを中心に「地域が期待する中学生の貢献活動」をまとめてもらいます。そして、各地区単位で中学生が考えた貢献活動と、地域が期待する貢献活動を基に、中学生と地域代表者が地区単位で意見交換を行います。「〇〇をしたいのですが。」「それはいいね。」「ちょっと難しいかもね。」「では、こんなにしたらどう?」といった意見をお互いに交わしながら、当日の活動計画を練り上げました。今年度は2回目とあって、より深く考えた活動が提案でき、多くの方々の理解・力添えを頂きながら、目標に近い意義深い活動ができました。また、活動を通して地域の方々とも楽しく交流を深めることもできました。



【事前の意見交換会】



【ロードミラー清掃】



【ゲートボールによる交流】

《今年度の主な活動》

公民館清掃 コスモス祭の看板作成 福祉施設の清掃活動 スポーツ交流
ロードミラー清掃 昼食づくり交流 地域の記念樹整備 地域の歴史探訪
花壇の除草・定植 一人暮らしの高齢者へのメッセージカード作成 など

伊佐市の青少年健全育成活動

「チームちむどん」

1 活動の目的と始まり

「チームちむどん」は、子どもたちが自分たちの住む地域の歴史を学び、その成果を舞台として発表することで、郷土に誇りを持つ活力ある人材を育てる人材育成活動です。

活動の始まりは、沖縄の南島詩人平田太一さんが始められた「現代版組踊」を伊佐市が取り入れてきたことです。「現代版組踊」は、地域の歴史や人物を題材とした子どもたちが演じる舞台であり、子どもの居場所づくりを目的に全国に活動が広がってきています。



2 チームちむどん

平成26年に沖縄を訪ね、うるま市の「現代版組踊」に感動した伊佐市内の高校生により「チームちむどん」が結成されました。それから、様々な機会を発表を経験し、市民への認知度も上がっていく中で小中学生も参加するようになりました。

現在は、小中高生43人が「一生懸命はカッコイイ」を合言葉に練習を重ね、伊佐市内のお祭りや成人式などのイベント出演など、様々な場所でのパフォーマンスを行っています。そして、昨年12月には「チームちむどん」のオリジナル舞台「鬼武蔵～TADAMOTO忠元」の3回目の公演が行われました。

3 現代版組踊「鬼武蔵～TADAMOTO忠元」

この舞台では、伊佐の偉人である戦国時代の島津の猛将「新納武蔵守忠元」の生き様と志を子どもたちが学び、2時間以上の舞台を演じました。

今回は、福島県と沖縄県、そして北海道の「現代版組踊」の3チームの子どもたちが友情出演し、さらに伊佐市内の小中学生等による郷土芸能や和太鼓グループ等も舞台に参加し、出演者総勢138人の壮大な舞台となりました。子どもたちの真剣な演技と心躍るダンスパフォーマンスに、会場と出演者が一体となり熱気あふれる感動のステージになりました。

4 鬼武蔵公演実行委員会

子どもたちは発表の経験を積みながら、それを下級生に伝えていくことで成長していきます。

また、この活動は多くの支援者で成り立っています。舞台道具や衣装作製、音楽演奏、公演運営など、保護者が中心になり「鬼武蔵公演実行委員会」として参加しています。


「チームちむどん」は高校3年生で卒業となりますが、卒業生も実行委員として活動を支え、公演時には後輩の指導を通して、郷土づくりに貢献しています。





「斜め関係」って何？

それを上手に活用するにはどう育てればいいのか？

- 伊佐ちゃん：
 本当に有難う!助かってます!!厚かましいけど、またまた聞いて良いかな?今度は、気のせいか、話しかけてくる機会が随分減ったような気がするの?朝晩が以前よりせわしくなったからね…。気になり出して!「何か怒っているの?もう少し話さないよ!お母さんは寂しいわ!」と言うと、「別に変わらないよ!」とは言うんだけど、少々心配な状況で…。良い方法はないかな?
- 始ちゃん：
伊佐ちゃん。子どもが「成長」すると、ある時期確かに「親子の会話時間」が減少するという話は聞いたし、実際、私もそんな心配をした時期があったよ!それから、成長と共に親には話したくない内容も出てくるらしいよ。自分は経験はない?
- 伊佐ちゃん：
ええ!どういうこと?「親に話しにくいこと」ってあるかな?
- 始ちゃん：
伊佐ちゃん、話すことによって自分の立場が悪くなることってあるよね?例えば、忘れ物をして先生に叱られたとかさ…。要するに、両親とか担任の先生とか日頃の生活の中で1番つながりの強い人、この関係を「縦の関係」と呼ぶのね。この人たちには、話すことをためらうことがだんだん出て来るんだって!成長の証よ!喜びなさいよ!
そうなんだ!やっぱり聞いてみるもんだね!
- 伊佐ちゃん：
そうだよ!ここからが大切だから、もう少し聞いてね!先の「縦の関係」に対して「横の関係」と呼ばれる人々もいるの。学級の友達がそうなのよ。その人に加えて「斜め関係」と呼ばれる人たちもK子ちゃんの周りには必ずいるのよ。
例えば祖父母・従兄弟・隣近所のおじさん・おばさんなどがそれに当たるのよ。もし、「縦の関係」の人に話しにくいことが出てきたら、必ず、「斜め関係」の人に相談するように教えておくの。それが親の務め・役割だと思うのよ!
- 伊佐ちゃん：
分かったわ!大切なことね!私も積極的にやってみるわ!聞いてみるもんだね。
- 始ちゃん：
そうしておくよ!相談を受けた人から報告もあるかもよ!そのことによって親に話したのと同じになるよ!話さないことで窮地に追い込まれなければ良いのよ!
このことは、まだ良く知られていなくて活用例を聞いたこともないと思うよ!
伊佐ちゃんがまず活用して、その良さを仲間に教えてあげるといいよ!
期待しているね! 頑張れ! 伊佐ちゃん!!



毎月19日は、「育児の日」です。

みんなで子育てを応援しましょう。



お願い



- 1 交通事故や犯罪にあわないように子どもたちの安全を見守りましょう。
- 2 多世代交流などで、子どもたちに自然や地域の伝統を生かした体験をさせましょう。
- 3 子育てと仕事を両立しやすい環境づくりに努めましょう。
- 4 父親の育児参加の機運づくりに努めましょう。
- 5 妊婦や子どもがいる世帯を地域全体で応援する機運の醸成に努めましょう。

